

## 平成29年度第2回沼田市子ども・子育て会議 会議録（概要）

### 会議の概要

開催日時	平成29年10月17日（火） 午後1時から午後3時
開催場所	中央公民館 3階 第1講義室
出席者 ◎会長 ○副会長	<p><b>【委員】</b> 浅沼委員、荒木委員、石井委員、大淵委員、小熊委員、○榎淵委員、古池委員、◎小林委員、齋藤と委員、田代委員、庭野委員、林織委員、林博委員、星野委員、松井委員、柳委員、吉田委員</p> <p><b>【市関係者】</b> 角田健康課長、竹之内学校教育課長、入澤学校教育係長</p> <p><b>【事務局】</b> 小池子ども課長、青柳子育て支援係長、金井副主査</p>
次第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（会長）</p> <p>3 議 事 (1)沼田市子ども・子育て支援事業計画中間期の見直し（案）について (2)その他</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの考え方について</li> <li>・沼田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し方針（案）</li> <li>・沼田市子ども・子育て支援事業計画中間期の見直し（素案）</li> <li>・平成29年度第1回子ども・子育て会議専門委員会結果概要</li> <li>・TERRACE沼田6階「子ども広場」計画平面図</li> </ul>

議事要旨

発言者	議事の経過及び発言の要旨
	<p><b>1 開 会</b>  <b>2 あいさつ</b>  <b>会長</b>  <b>3 議 事</b></p>
会 長	(1)「沼田市子ども・子育て支援事業計画中間期の見直し（案）について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>【資料1「子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの考え方について」、資料2「沼田市子ども・子育て支援事業計画中間見直し方針（案）」、資料3「沼田市子ども・子育て支援事業計画中間期の見直し（素案）」により説明。】</p> <p>資料2、資料3は平成29年8月23日（水）の専門委員会で、中間見直し案について意見をいただいた内容に基づき修正を加えたもの。修正箇所にアンダーラインをしている。専門委員会でいただいた「中間見直し案が全体的に量の見直しが中心となっているが、提言書「子育て世帯が安心できる教育・保育環境の整備の提言について」に基づく質の改善の内容を加える必要があるのではないか」という意見を踏まえ、修正を加えた。</p> <p>項目ごとに説明する。まず、人口推計については推計値と実績値に大きな離がないため、修正なしとする案である。</p>
会 長	<p>人口推計については、見直しをしないということによろしいか。</p> <p>（異議なし）</p>
事務局	<p>次に、教育・保育について、1号認定については、入園児数の実績が計画を下回っているが、一定のニーズが見込めるため、量の見込みの下方修正はせず、確保方策を実際の確保状況に合わせて1号認定のみとする見直しをする案、2・3号認定については、入所（園）児数の実績と今後の保育需要を勘案し、当初の計画どおりで見直しはしないとする案である。</p>
会 長	<p>教育・保育については、事務局説明のとおりによろしいか。</p> <p>（異議なし）</p>
事務局	<p>続いて、地域子ども・子育て支援事業について、実績を調査分析した結果、5事業について見直しが必要があると判断されたもの。利用者支援事業については、当初計画に反映されていなかった「母子保健型」1か所を、量</p>

の見込みと確保方策に追加する見直しを行う案である。

地域子育て支援拠点事業については、利用実績が計画記載の量の見込みを大きく上回り、今後も利用者数の増加が見込まれ、「子ども広場」の移転拡充も予定されていることから、量の見込みと確保方策を上方修正する見直しを行う案である。

一時預かり事業のうち、「幼稚園在園児対象」については、利用実績が増加傾向であること、平成30年度からの公立幼稚園における事業開始に伴う利用数の増加見込みを踏まえて上方修正する案、「幼稚園以外の一時預かり」については、量の見込みと利用実績の乖離が大きいため下方修正する案である。

病児・病後児保育事業については、保護者のニーズの高い「病児対応型」を事業計画に追加する見直しである。

放課後児童健全育成事業（学童クラブ）については、登録児童数の実績に合わせて、量の見込みと確保方策を上方修正する見直しである。

事業ごとに提言を踏まえた「質の改善」の内容を加え、「3 安心して子育てができる沼田市をめざして」を新たに追加した。

会 長 地域子ども・子育て支援事業の見直しについて、事務局説明のとおりでよろしいか。

委 員 地域子育て支援拠点事業の、子ども広場の「TERRACE沼田」への移転整備の現状について説明をお願いしたい。

事務局 【参考資料「TERRACE沼田6階「子ども広場」計画平面図」により説明】

平成30年12月末の完成を目指し、計画どおり工事が進んでいる。平成30年度に遊具などの備品購入費を予算計上する予定。9月にスタッフと子ども課職員で渋川市の「すこやかプラザ」を視察した。どのような遊具を設置するか、開設後の運営体制、土日を開設するのかどうか、などが検討課題となっている。

委 員 補足として、現在の施設では土日の開設が難しいが、新施設で土日のどちらか開設できるようになることにより、男性の保護者の利用の増加が見込まれる。また、「子ども広場」という名称から、「子どもだけを預けて遊ばせる場所」と誤解されることがあるので、名称についても検討が必要である。

会 長 新しい施設が親子で遊べる場所として機能するよう、平成31年度の開設に向け、子ども・子育て会議としても意見を上げていきたい。

委 員 一時預かり事業について、専門委員会で意見が出ていた2点について確認

	<p>したい。幼稚園在園児対象の一時預かりについて、公立幼稚園で行う事業のコストを低減する手法について検討するよう意見が出ていたが、検討した結果を説明願いたい。また、幼稚園以外の一時預かりの量の見込みと確保方策を減らすとのことだが、確保方策を減らすことによって、現在4か所で実施しているものの箇所数を減らす、などの対応が必要となるのかどうか。</p>
学校教育課長	<p>公立幼稚園の一時預かり事業について、現時点では平日の授業日に実施し、長期休業日は実施しない方向で検討している。実施時間は教育時間の終わる午後2時から4時半までの2時間半。国の制度に沿って、各園1名の臨時職員任用を考えている。専門委員会では、今いる職員で対応できるのではないかと意見をいただいたが、教員の研修、教材準備を考慮し、臨時職員1名の配置で進めていきたい。年間2,500千円程度の支出を試算しているが、平成30年度から公私立統一となることによる利用者負担収入の増や、今後の統廃合を踏まえながらコスト削減を図っていきたい。</p>
委員	<p>一時預かり事業の利用料についてはどうなっているか。</p>
学校教育課長	<p>利用料については、市の公立保育園の延長保育料と県内各市の設定状況を踏まえ、一日200円、月額2,000円、おやつ・飲み物代別とする。</p>
委員	<p>他の市がどうであれ、2,500千円の支出をまかなうための市税の投入が少なくなるように考え、公立と私立の保護者にとって平等な料金設定をすべきではないか。</p>
会長	<p>ここで、すぐすぐ解決する問題ではない。私立の利用料はどのくらいか。</p>
委員	<p>園により形態、料金が異なるが日額400円から700円程度である。</p>
事務局	<p>私立実施園にも、子ども・子育て支援交付金の補助基準に基づき、市から補助金が出ている。国県補助を除く一般財源部分は市の持ち出しとなり、市税が投入されているのでご理解いただきたい。</p>
委員	<p>利用料と市の補助だけでは、私立としては赤字である。説明された内容で事業をスタートすることは理解するが、赤字の削減について引き続き検討を進めるスタンスで臨まれてはどうか。</p>
会長	<p>平等性、効率性を踏まえ、今後の事業充実に向け進められたい。</p>
事務局	<p>幼稚園以外の一時預かり事業について、ニーズ調査をすると数字が高く</p>

出るため量の見込みの人数も多くなっているが、実際の利用と合わないところがある。下方修正をすることにより現行の受け入れ体制を変更することではなく、現行の4施設の受け入れ方法を改善しながら、利用しやすい制度設計を進めていくもの。

会 長 放課後児童健全育成事業（学童クラブ）について、量の見込み総数としては上方修正だが、高学年の人数が減少しているのはどういうことか。

事務局 総数について上方修正するものだが、高学年と低学年の内訳について違和感があるので、もう一度精査したい。

委 員 学童保育について、小学校と情報共有や連携をする仕組みをしっかりと作っていきたい。この場でも何度も話が出ているが進んでないというのが実情。市の関係各課もこの会議に参加されているので、何とか具体的にできるよう進めていければと考える。

会 長 何度も話が出ている。定例的に問題点を話し合う機会があるといいが、まだないのか。

事務局 個別のケースでやりとりする機会はあると思うが、定例的なものについては今後の話になる。

委 員 40人定員を超過する学童クラブについて、市の担当課として指導しているか。また、支援員の配置基準が守られているかどうかの指導はしているか。

事務局 40人定員を超える学童クラブに対しては「グループ分け」の指導をしている。各学童クラブからの報告に基づき支援員の配置基準が守られているかどうかのチェックも行っている。

会 長 学童クラブの内訳の修正がある可能性はあるが、それ以外については見直し案のとおり進めることでよろしいか。

委 員 専門委員会の意見を踏まえ、「質」に関する記載を見直し案に入れていただいた。「量」の問題は何年度にどのくらいと具体的に書かれているが、質の部分は具体的に書かれていないため、評価のしようがない。見直し案に記載するかどうかは別として、少なくとも「次期計画につなげる」だけではなく、計画期間があと2年もあるので、平成30年度、31年度にできることを具体化または行程化していく要素があった方がいいのではないか。今期の会議はこれで終了するが、次期の会議の冒頭で、質の改善のためにい

	つ何をやるかを示せるようにしていただきたい。
会 長	次期の子ども・子育て会議では、質の改善の議論も進めていく必要がある。見直し案については以上のおりよろしいか。
	(異議なし)
事務局	<p><b>(2)その他</b></p> <p>・今後のスケジュールについて</p> <p>現委員については10月末で任期満了となる。11月以降の次期委員体制で見直し案の策定に向けた審議を進めていく。</p>
会 長	<p><b>4 その他</b></p> <p>・任期満了あいさつ（会長）</p> <p>2年間大変お世話になった。おかげさまで提言書を出すことなどができた。皆さま方のご協力に感謝申し上げます。</p>
	<b>5 閉 会</b>